

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 12. 5

下水道機構の『新技術情報』 第262号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

勝手に源流シリーズ第2弾。今回は東京湾に注ぐ荒川の上流、秩父を訪れました。目的は、先週、無形文化遺産に登録が決まった山・鉾・屋台行事 33 行事の1つ秩父夜祭。勇壮な屋台囃子を打ち鳴らし、まちなかを曳き回される笠鉾2基と屋台4基の山車は圧巻です。また約300年続くお祭りということで、地域の方が一丸となって脈々と受け継がれてきたのかと思うと感慨深いものがありました。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第262号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・12/2(金)に第2回技術委員会が開催されました

■機構の動き

- ・今週は、12/8(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・健全な走り屋目指して(研究第二部 (元) 淡海帆走人さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、研究第二部のペンネーム「(元) 淡海帆走人」さんからの投稿です

■国からの情報

- ・12/2 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●12/2(金)に第2回技術委員会が開催されました

平成28年12月2日 午後2時から「平成28年度 第2回 技術委員会」が開催されました。

今回は、各部門別委員会により審議中の継続テーマ5件についての報告と審議が行われました。

- ・「伊万里市保有エネルギー高度活用型汚泥処理・資源化システム」
- ・「OD法の省エネ技術に関する共同研究」
- ・「高効率酸素溶解装置による酸素供給電力削減技術に関する共同研究」
- ・「嫌気性消化法の導入マニュアル策定に関する共同研究」
- ・「下水処理場等における電気設備の健全度診断・改築計画に関する共同研究」

また、調査検討支援委員会における検討テーマである「下水熱利用を普及促進するための共同研究」、「高度処理施設における土木構造物の劣化に関する共同研究」の2件について技術的な助言をいただきました。

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

●平成28年12月8日(木) 17:00~18:00

行 事：第354回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：公益社団法人日本下水道協会 技術研究部参事兼技術指針課長 松本広司氏

テーマ：「熊本地震を踏まえた災害時支援ルール等改定の方角性について」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○日 時：平成28年12月8日(木) 13:30~17:00

行 事：平成28年度第3回第3審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

案 件：(1)平成28年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の報告書の審議および質疑応答

○日 時：平成28年12月13日(火) 13:30~17:15

行 事：平成28年度第3回第1審査証明委員会

場 所：機構8階 特別会議室

案 件：(1)平成28年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の報告書の審議および質疑応答

。○○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○○。

●健全な走り屋目指して(研究第二部 (元)淡海帆走人さんからの投稿です)

早いもので師走に入り、朝晩の冷え込みも日ごとに厳しくなってきましたが、(2月の下水道職員健康駅伝大会に向けて?)ランニングを行うのにはちょうど良い季節で

す。そこで、都心エリアのみになりますが、いくつかランニングコースを紹介したいと思います。

①皇居外周

言わずと知れたランニングのメッカ。1 周約 5km。一部道幅の狭いところもあり、人の多い時間帯は注意が必要。景色を楽しみながらゆっくり走るのも良い。

②赤坂御用地外周

皇居ほどではないが走っている人は多い。1 周約 3.3km。数か所ある角を曲がる際は歩行者等との衝突に注意が必要。起伏がありトレーニング向け。

③明治神宮外苑

周囲にスポーツ施設が多くランニング以外も楽しめる。1 周約 1.3km。野球、ラグビー、イベント開催時は通行人が多く、時間帯によっては避けた方が無難。平坦で 100m 毎に地面に距離表示あり。

④新宿御苑

最近知った意外なスポット。1 周約 2.6km。入場料が 200 円かかるが、ランニング後園内を散策するのもアリ。2,000 円で年間パスポート購入可。木陰が多く夏場は最適。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回のゆいまーるは、研究第二部のペンネーム「(元) 淡海帆走人」さんからの投稿です。出張で訪れた長野市のマンホールふたの投稿です。

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2016-12-5>

*/**/*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.12.2付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

12月に入り、今日も財務省に行ってきましたが、やっと来年度予算要求についてゴールが見えてきました。社会保障費が膨らむ一方で、大幅な増収増税が期待できない中、補助対象範囲を拡大するような新規事項要求については、措置率の低下を避けたい財務省との間で真っ向から衝突する大変厳しい状況でしたが、なんとか形になるのではないかと考えています。

福岡市地下鉄七隈線延伸工事現場における道路陥没事故については、土木研究所において有識者委員会を設置し、原因究明等の検討を行うことになり、第1回の検討委員会が11月29日に開催されています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shicho/koho/shisei/topics/dourokanbotu.html>

馬蹄形の下水合流管の断面が露わになったのは衝撃的でした。あまり知られていないようですが、もっと深いところにも下水雨水管が埋設されていて、この管は福岡市の調査の結果、健全だったそうです。

（断面図は下記の4枚目参照）

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/55574/1/hukkyuu15jigennzai.pdf>

（上記の第1回検討委員会の概要資料にも断面図があります）

http://subway.city.fukuoka.lg.jp/subway_webapp/app/webroot/files/uploads/1stjikogaiyou_2.pdf

最後に、週刊現代の最新号の「これが日本の底力「勇気ある町工場」を訪ねて」というコーナーに下水道管路施設管理業の管清工業さんが取り上げられていましたので紹介します。3Kとされる業界のイメージを変えていきたいとのコメントもあります。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○第31回 下水道職員健康駅伝大会 開催のご案内（下水道職員健康駅伝大会事務局）

○「生産性革命プロジェクト」に

「下水道イノベーション～“日本産資源”創出戦略～」を追加（国土交通省）

○特集：進化する下水道【広報誌「国土交通」No.141】（国土交通省）

○「九州環境市民フォーラム in さが」が開催されます（佐賀市）

○平成28年度「行政事業レビュー」の結果について（内閣官房・国土交通省）

○第7回「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」の開催（下水道企画課）

○平成28年度下水道技術研究開発（GAIAプロジェクト）で実施する技術開発テーマを決定（流域管理官）

○12月8日（木）に、「第354回技術サロン」を開催します（下水道機構）

○「第29回 下水道循環のみち研究会」の案内（（一社）日本下水道施設業協会）

○第31回 下水道職員健康駅伝大会 開催のご案内（下水道職員健康駅伝大会事務局）

下水道関係職員の親睦を深め、健康増進を図ることを目的とした「第31回 下水道職員健康駅伝大会」を開催します。本大会は、行政・団体等で構成した下水道関係職員チームが参加でき、平成29年1月上旬（予定）までウェブ上で参加者を募集しています。（大変申し訳ありませんが、民間企業は参加できません）

※全国各地から下水道分野で働く女性の活躍が多く聞かれることから、今年度から「GJ賞」を創設しました。これは、下水道分野で働く女性達で結成されたチームのなかで、最も優秀成績を収めたチームに授与されるものです。女性同士の繋がりの場として本大会を活用していただくとともに、マイペースな走りで、楽しい1日を過ごしてみませんか。

日時：平成29年2月4日（土） 雨天決行

〔受付〕11時00分～12時00分 〔開会式〕12時15分～

〔スタート〕13時00分 〔閉会式〕14時30分～

場所：日産スタジアム（横浜市港北区小机町3300）

主催：下水道職員健康駅伝大会実行委員会

走行距離：11,300m

（第1区：3,300m 第2区：1,600m

第3区：1,600m 第4区：1,600m 第5区：3,200m）

表彰：1位～10位、GJ賞、仮装賞、ブービー賞など

参加費：12,000円

※参加費の一部は熊本地震等の義援金として寄付させていただく予定です。

申込み方法：参加を希望される方は次のホームページからお申し込みください。

http://www.sportsone.jp/srt/stocks/srt20170204_122121.html

申込み締切日：平成29年1月上旬（予定）

○「生産性革命プロジェクト」に

「下水道イノベーション～“日本産資源”創出戦略～」を追加（国土交通省）

国土交通省では、我が国経済の持続的で力強い成長に貢献するため、省を挙げて「社会のベース」、「産業別」、「未来型」の3つの分野の生産性向上に取り組む「生産性革命」を進めています。

これまで13のプロジェクトが選定されているところですが、11月25日に開催された「国土交通省生産性革命本部（第4回）」において、「下水道イノベーション～“日本産資源”創出戦略～」を含む新規7件・拡充2件のプロジェクトが選定されました。

「下水道イノベーション～“日本産資源”創出戦略～」は、下水汚泥を徹底的に活用し、輸入に頼るエネルギーの地産地消や、農業の生産性向上への貢献を進めるものです。

国土交通省としても自治体等の取組を支援して参りますので、下水汚泥の徹底活用に向けた取組の更なる推進をお願いいたします。

記者発表資料：

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo08_hh_000114.html

国土交通省生産性革命プロジェクト一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000021.html

○特集：進化する下水道【広報誌「国土交通」No.141】（国土交通省）

国土交通省の広報誌「国土交通」にて、特集として進化する下水道が取り上げられました。内容は、

- ・下水道事業の最近の取り組み
- ・マンホールカード
- ・GJリンク
- ・下水道資源の有効利用
- ・新潟県での植物栽培実験

などが取り上げられています。

記事の詳細については、下記をご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html>

○「九州環境市民フォーラム in さが」が開催されます（佐賀市）

12月10日～11日に「九州環境市民フォーラム in さが」が佐賀市で開催されます。

九州環境市民フォーラムは、環境保全を行っている市民団体・事業所・行政・学生等が一同に会し、各環境活動団体等の抱える問題の共有や改善、課題解決を図ることを目的に年1回開催されているものです。今年度は「つながりと協働で未来を創造しよう！」をテーマに開催されます。

【開催概要】

12/10（土）12:30～18:30 基調講演&分科会

基調講演『「昔に帰る未来型」環境都市づくり』

講師：国土交通省下水道部 下水道事業課長 加藤裕之氏

12/11（日）9:30～13:00 災害支援活動に学ぶ事例発表&ワークショップ

12/11（日）14:00～ オプションエコツアー（佐賀市清掃工場）

対談～今後の展望～

講師：佐賀市上下水道局 環境政策調整監 前田純二氏

ゲスト：国土交通省下水道部 下水道事業課長 加藤裕之氏

※イベントの詳細につきましては、NPO 法人九州環境サポートセンターのホームページをご覧ください。

（ホームページ） <http://q-support.org/>

（イベントのチラシ） <http://q-support.org/wp-content/uploads/2016/06/市民>

○平成28年度「行政事業レビュー」の結果について（内閣官房・国土交通省）

11月28日、行政改革推進会議（議長：内閣総理大臣）が開催され、11月10日～12日に行われた「秋のレビュー」及び11月5日に開催された「大阪レビュー」のとりまとめが行われました。

下水道については、「下水道におけるPPP/PFIの導入に向けた検討経費」が、内閣府や上水道のPFI検討支援事業とともに、11月5日に大阪大学で開催された「大阪レビュー」の対象となりました。

大阪レビューでは、事業の削減というよりは、PPP/PFIの推進策を大阪市の先進事例を踏まえて考えるという視点で、有識者等を含めた議論が行われました。

大阪レビューを受けて、行政改革推進会議では、

- ・上下水道のPFI推進に向けて、大阪市の経験を他の自治体とも共有すべき
- ・PPP/PFI推進アクションプランにおける数値目標達成に向け、最大限努力すべき
- ・民間事業者の上下水道PFIに参入するために、メリットやリスクを把握できるように上下水道で財務や経営に関する「見える化」を進めるべき
- ・上下水道の処理施設・浄水施設の改築に対する補助等について、広域化の検討を要件とすべき

といったとりまとめを行いました。

とりまとめを踏まえ、国土交通省としてもPPP/PFIの推進に向けて取り組んで参ります。

行政改革推進会議：

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/gskaigi/dai25/gijisidai.html>

大阪レビュー：

http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gyoukaku/H27_review/H28_fall_open_review/osaka.html

○第7回「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」の開催

（下水道企画課）

国土交通省では、施設の老朽化や技術職員減少による執行体制の脆弱化が進む中、下水道の機能・サービスの水準を持続的に確保するため、コンセッション方式等のPPP/PFI手法の導入に向けた好事例の地方公共団体間の横展開を図ることを目的に、平成27年10月に「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」を設置しました。このたび、11月30日（水）15時～日本下水道協会において、第7回会議を開催しましたので、お知らせします。

検討会では、未来投資会議、行政事業レビューなどのPPP/PFIに関する政府の最新動向について、国土交通省より説明を行いました。また、コンセッションについて先進的に取り組んでいる浜松市、奈良市や、PPP/PFIについて検討している須崎市、宇部市、小松市から現状報告があり、モニタリング体制、競争性の確保、官民のリスク分担などについて活発な意見交換が行われました。

今回から、宇都宮市が新たに委員に、民間資金等活用事業推進機構（PFI推進機構）が新たにオブザーバに加わっていただいています。

本検討会は、今後も2ヶ月に1回程度開催する予定です。参加ご希望の自治体におかれては、国土交通省下水道企画課までお問い合わせください。

検討会資料について（第1回～第6回）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000382.html

※検討会メンバー：いわき市、宇都宮市、宇部市、大阪狭山市、大阪市、かほく市、香美市、河内長野市、高知市、黒部市、小松市、佐野市、塩尻市、須崎市*、田原市、多摩市、富山市、奈良市、浜松市、富士市、三浦市、柏市、山元町、秋田県、埼玉県、滋賀県（23市町・3県）

オブザーバ：宮城県、横浜市、日本下水道事業団、日本下水道協会、PFI推進機構（*は、今回から新たに参加した自治体等）

○平成28年度下水道技術研究開発（GAIAプロジェクト）で実施する技術開発テーマを決定（流域管理官）

国土交通省では、地域毎に異なる下水道の政策課題の解決を目的として、下水道分野の技術研究開発の未来を担う若手研究者との連携により、大学等の研究機関が有する先端的な技術の活用や実用化を促進し、成果の普及を図るため、下水道技術研究開発（GAIAプロジェクト）を実施しています。

今回、新たに実施する技術研究開発テーマ6件を決定しましたのでお知らせします。

※GAIAプロジェクト：Gesuido Academic Incubation to Advanced Project

【決定した技術研究開発テーマ】

- (1) 藻類遅延発光阻害試験による下水処理水の生態影響評価に関する研究
研究代表者：岡山大学大学院環境生命科学研究科 助教 田村生弥
- (2) 下水処理水中の生態影響原因物質を対象とした高効率汎用型探索技術の開発
研究代表者：鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 准教授 高梨啓和
- (3) F0膜とクロラミン耐性メタン発酵を組合せた低コスト・エネルギー生産型下水処理システムの開発
研究代表者：北九州市立大学国際環境工学部エネルギー循環化学科 准教授 寺嶋光春
- (4) 執行体制の脆弱化に対応した下水処理水中の細菌・ウイルスの簡易分析技術の開発
研究代表者：北海道大学大学院工学研究院環境創生工学部門 准教授 佐藤久
- (5) 微細藻類を用いた下水中でのアスタキサンチン生産技術の開発
研究代表者：岡山大学環境管理センター 准教授 永禮英明
- (6) 下水汚泥の有用微生物優占技術と高付加価値農業資材の生産技術の開発
研究代表者：長岡技術科学大学産学融合トップランナー養成センター 特任准教授 幡本将史

各研究概要については、下記URLをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000484.html

○12月8日（木）に、「第354回技術サロン」を開催します（下水道機構）

下水道機構では、毎月（8月を除く）の第二木曜日夕方に当機構の会議室にて、下水道に係わる最近の話題や新技術等に関する技術講演会として「技術サロン」を開催しています。

今回のゲストは公益社団法人 日本下水道協会 技術研究部 参事兼技術指針課長 松本広司氏、テーマは「熊本地震を踏まえた災害時支援ルール等改定の方向性について」です。

- ・日 時：12月8日（木）17：00～18：00
- ・会 場：日本下水道新技術機構 8階会議室
- ・参加費：無料

下水道事業において地震などの災害時支援については、東京都、政令市間の「下水道災害時における大都市間の連絡・連携体制に関するルール」（大都市ルール）とその他自治体間の「下水道事業における災害時支援に関するルール」（全国ルール）があります。

本年4月に発生した熊本地震による下水道施設の被害に対する、復旧支援の状況を踏まえ、下水道協会では「災害時支援に関する検討委員会」を立ち上げ、全国ルールと大都市ルールの調整方法、現地支援本部の位置付けや具体的な役割分担等に関し、ルールをより実効的なものに改善するために検討を進めてきました。

また、本年7月に当機構が実施した、熊本地震における下水道BCPの有効性と課題に関するアンケート調査においても、不足した人材や資材を補うために、事前に県外の自治体や他団体との協力体制を構築することが、下水道BCPの見直し課題として挙げられています。

そこで、今回の技術サロンでは、検討委員会の事務局である下水道協会の松本氏をお招きし、災害時支援ルール改定の方向性等を説明していただきます。

災害時の初動体制や、復旧のための調査手法など、下水道の現場にかかわるすべての関係者に参考となるものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○「第29回 下水道循環のみち研究会」の案内（（一社）日本下水道施設業協会）

（一社）日本下水道施設業協会では、第29回「下水道循環のみち研究会」セミナーを下記の通り開催します。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- ・日時：平成28年12月19日（月） 午後3時30分～6時00分
- ・場所：（一社）日本下水道施設業協会 大会議室
- ・テーマ：「埼玉県の下水道資源・エネルギーへの取組み」
- ・講師： 埼玉県下水道局参事兼下水道事業課長 本田康秀様

今回のセミナーは、水素を含め下水道の資源・エネルギー利用への取組みを活発化させている埼玉県から本田康秀下水道事業課長をお招きして、資源・エネルギー利用に向けての取組みを中心に埼玉県の最近の動きをお話し頂き、意見交換させていただきます。

参加ご希望の方は、当協会HPをご覧の上、12月12日（月）までにお申し込み下さい。積極的な参加をお待ちしております。

<http://www.siset.or.jp/> <<http://www.siset.or.jp/>>

【参考情報】

◆京都) 難所続き、緊張の連続 いろは呑龍トンネル工事中 <11/27 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/articles/ASJGS5GG3JCSPLZB00Q.html>

◆「マンホールカード」あすから配布 花巻市 鹿踊り、菊花デザイン <11/30 岩手日日新聞社>

<http://www.iwanichi.co.jp/hanamaki/19558.html>

◆ご当地カード配布 石岡 <11/30 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14804196717458

◆日立、造水システム実証 南ア、水不足の解消目指す <11/30 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14804131355340

◆下松市で県内初の「マンホールカード」 下水道を身近で親しみやすいものに <11/29 周南経済新聞>

<http://shunan.keizai.biz/headline/57/>

◆厚木市は「マンホールカード」でアピール 神奈川 <11/29 産経ニュース>

<http://www.sankei.com/region/news/161129/rgn1611290069-n1.html>

◆18年以降に排水管増設 豪雨冠水対策で千葉市 千葉駅周辺 下水道計画課「完全にはなくせない」 <11/27 千葉日報>

<http://www.chibanippo.co.jp/news/local/368187>

◆簡易型トイレ所持はわずか1割 災害対策はもはや他人ごとではない <11/27 ニフティニュース>

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12189-20161025146/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>
